

たとえ話が問いかける

イエスの語った神の国

福音書におけるエピソードの中で、一番親しみを感じるのはたとえ話ではないでしょうか。「良きサマリア人」、「放蕩息子」。しかし、ピンと来ないたとえ話もあるし、結果が分からない納得いかないたとえ話もあるのは事実です。イエスの語ったたとえ話は、聞き手の生き方にいろいろな示唆を投げかけ、神のまなざしという新たな視点を提供しながら今日的な応えが求められるでしょう。あなたもたとえ話に耳を傾け、それにどう応えるでしょうか。

スタート 4月9日(火)から 毎回資料配布

時間 朝の部10時 夜の部19時

場所 大名町教会・1階 講堂

指導 レナト神父 寺浜神父

1人でも多くの方が参加できるように、朝の部と夜の部があります。内容は同じです。都合によって、どちらに参加してもけっこうです。



2024年

日付と内容 (全10回)

- | | | |
|----|--------|--------------------------------|
| 4月 | 9日(火) | たとえ話とは・共通テーマ、目的、分類など |
| | 16日(火) | たとえ話の舞台・当時の日常生活とその人たち |
| | 23日(火) | 種まきのたとえ話 |
| 5月 | 7日(火) | 10人の乙女たち、最後の審判、タレントのたとえ話 |
| | 14日(火) | ぶどう園の労働者、仲間をゆるさない家来のたとえ話 |
| | 28日(火) | 盛大な宴会 マタイとルカを比較 |
| 6月 | 4日(火) | ファリサイ派の人と徴税人、不正な裁判官とやもめのたとえ話 |
| | 18日(火) | 愚かな金持ち、ラザロと金持ち、不正な管理人のたとえ話 |
| | 25日(火) | 良きサマリア人のたとえ話 |
| 7月 | 2日(火) | 慈しみの三つのたとえ話 (迷った羊、なくした銀貨、放蕩息子) |